

【こうもりナレーション】

さて、次にお届けするのは「こうもり」。今までとはガラリと変わり、コミカルな作品です。

♪アルフレードのアリアピアノ短縮版

ここは銀行家、アイゼンシュタインのお屋敷。この話は彼がちょっとした諍いを起こして、刑務所に数日ばかり入らなくてははいけない。そんな所から始まります。

さて、屋敷につとめる小間使いのアデーレが、何やら騒いでますが…

♪アデーレ登場

パーティーに行くにはお休みをもらわなくてははいけません。

「まあいいや、おばさんが危篤だって言って休みもらっちゃおーっと！」

(ロザ上手奥から登場)

そこにやってきたアイゼンシュタインの妻ロザリンデ。

「奥様！私のおばが病気で…！お見舞いに行くのでお休みを下さい！」

しかし、そんな舌先三寸に騙されるロザリンデではありません。

♪小二重唱

(アデーレ、ロザの方見ずにずっと泣いてるふり)

(ナレーション、舞台出てロザに招待状渡す)

しかしロザリンデ、ひょんなことから彼女も、急にパーティーに行く事になりました。はい、招待状。

(ロザ、招待状を開く)

パーティーパーティー、楽しいパーティー。

亭主は刑務所、自分はパーティー。

となると、アデーレを屋敷に残すのはちょっとまずいな…

「あー、アデーレ？おばさんのお見舞い、行っていいわよ？」

(アデーレ飛び上がって喜ぶ・それまではずっと泣いてて)

そしてやってきた主人のアイゼンシュタイン。(上手奥から)

とても刑務所に行くとは思えない、キメキメの一張羅。

実はアイゼンシュタインも友人に誘われて、刑務所に行く前に、パーティーに行く事に。

でも妻ロザリンデには内緒。何故って？そりゃあ、パーティーで女の子引かけるからに決

まってるじゃないですかぁ！（アイゼン、2人の間あたりで）

と、いうわけで。

ここで3人が3人とも、互いに内緒でパーティーに行く事に。

（一斉に泣き出す）

そう、内緒だから、本当は悲しいはず！

だって、建前は危篤のおばさんのお見舞いに行くし！

刑務所に行くし！

愛しい旦那様としばらくお別れだし！

すっごく、悲しい、はず！

♪泣き泣き三重唱

♪序曲

場面は変わり、ここは華やかなパーティー。

アイゼンシュタインはここに呼ばれたわけです。しかし、そこには妻ロザリンド、小間使いアデーレも正体を隠してやって来ているという段取り。

これ、全てはアイゼンシュタインをからかおうという友人の大掛かりなイタズラなのです。何も知らないアイゼンシュタイン。何だかかわいそう。

さぁ、アイゼンシュタインが自慢の金時計を取り出しました。

アレで何をするかという、ナンパ。

綺麗な時計をエサに、女性を釣り上げようというわけですが……おや、仮面をつけた美女がやってきました。早速目をつけるアイゼンシュタインですが…

ちょっとよく見て！あの仮面の美女、実はあなたの奥さんですよ！

♪時計の二重唱

（ロザ上手前退場）

やれやれ、自慢の時計は取られるし、良い事なしのアイゼンシュタイン。

（アデーレ上手奥登場）すると今度は、女優と名乗る女性がやってきます。

が、小間使いのアデーレにそっくり。そりゃそうです。アデーレ本人なんですから。

「女優だって！？お前は、うちの小間使いじゃないか！？」

だけどアデーレは、シラを切る。

「私、女優よ！小間使いだなんて、失礼な方！」

♪侯爵様

（アデーレ上手前退場）

女2人にからかわれ倒して、何が何だかわからないアイゼンシュタイン。(下手退場)
さあ、そこへまたロザリンデ扮する仮面の美女が現れて、故郷の歌チャルダッシュを歌います。

(上手奥登場)

♪チャルダッシュ

さて、さっき女優と名乗っていたアデーレ。(上手前登場)嘘を本当にするため、女優になるためのパトロン探しをしています。

しかしそのためには、まずは、その演技力を見せなくてはね！

♪田舎娘

(下手登場)そこにやってきたアイゼンシュタイン。

「やっぱりお前は小間使いのアデーレじゃないか！」

詰め寄るところへ、(ロザ上手奥登場)仮面の美女がやってきます。で、その仮面をとると
...

まさかの、ロザリンデ！

そして、あの時計をアイゼンシュタインに見せつけます。

これぞ未遂とはいえ浮気の証拠。

さあ、アイゼンシュタイン、この絶対絶命のピンチをどう切り抜けるのか！？

『許してくれ、ロザリンデ…全ては、パーティーで飲んだシャンパンのせいなんだ！』

♪シャンパンの歌

暗転

照明オン

そのままカーテンコール